公民時報
発行所
福岡県田川郡
方城町公民館
編集人　安部恵久
（通第59号）
印刷所
冷牟田印刷合資会社

西日本一をめざして着々進む
中学校体育館建築

西日本一の体育館を！

これが倉石町長以下関係者の合言葉です。

当方城町に於ては、非常にまれな鉄筋コンクリート、鉄骨建築なので、見なれない私達の目には、さすがに大がかりな感じを受け、物珍らしく映ります。

鉄筋を組立てる配筋工事、これに流し込むコンクリート工事、高く積まれたセメントの袋が、二百俵三百俵と見る間に練られ、砂の山、砂利の山が見る見るうちにミキサーの中に吸い込まれる風景は、一寸壮観です。

ミキサーの立てる騒音が、教室内にまで届き、大変騒々しいようですが、暫くの間我慢をして下さい。

施工者の吉村建設も、西日本一の体育館を、という町長以下の意気込みに感じて、模範的な工事をして見せる、と張切っております。【写真右】

弁城小学校々舎

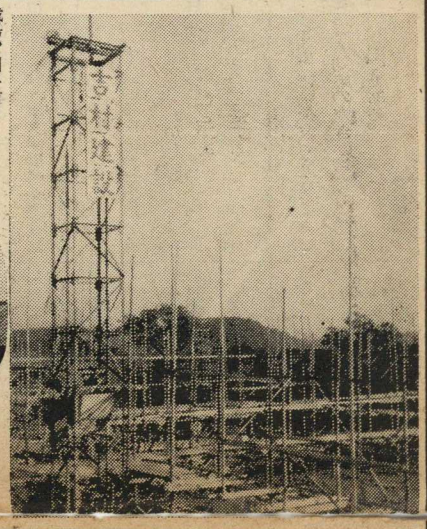
三教室です。

写真（左）で見られる通り、殆ど完成に近づきつゝあります。この調子で進めば、工期の十二月四日には、立派な姿に化粧されて、皆さん方にお目見えする事と思います。

施工者の木戸勝広氏も、損得を度外視して、子供達の為に、完全な工事を進めております。

職場、同一町内での賀状のやりとりなど話し合いによってしっかり問題点を絞り、固く申し合わせをしましょう。

なお、家計簿をつける（五人、十人）の仲間をつくり、元日から、きっとつけ始めましょう!!



新築中の弁城校（右）と中学校（左）

明るく新年を迎えましょう
元日は家計簿のつけ初め

町婦人会や三菱玉婦会では、年末、年始の虚礼をやめ、生活改善によって、明るく新年を迎えましょう。と、みんなの「自覚」を呼びかけている。

年末、年始の贈答の自粛や、同一職場、同一町内での賀状のやりとりなど話し合いによってしっかり問題点を絞り、固く申し合わせをしましょう。

なお、家計簿をつける（五人、十人）の仲間をつくり、元日から、きっとつけ始めましょう!!

婚姻届にも捺印
一歩進めた
上弁城での公民館結婚

勤労感謝の日の十一月二十三日上弁城分館で晴れの結婚式が挙行せられた。国旗掲揚台に高々と国旗がはためき、冬とは思えぬうらゝかな上天気。

午後一時すぎ、司婚の永末治豊分館長の挨拶で式が始まる。

青年たちはこの日を迎えるため、どれほど苦心したことだろう。男子は材料の買出し運搬。女子は前日からの料理つくり、いよいよ晴の式だ。

のし引きから雄蝶、雌蝶も、すべて地元青年団員の当番の人々がつとめる。

何度も青年団員の力で改善結婚の世話をしてきただけあって、堂に入ったもの。

この日特に目立ったのは、誓詞朗読のあと、新郎、新婦が直ちに婚姻届に捺印したことである。（写真参照）

これは、数度の公民館結婚を営んできた上弁城分館が、青年、婦人、戸主三者合同で、改善結婚の反省、研究会を開いた十月二十七日の晩、熱心な話し合いの中で、永末保美さんから出された意見が早速実行されたのであった。

「式の時に、誓詞に印鑑を押すぐらいなら、婚姻届にも捺印したらどうだろう。忙しさにまぎれていつい届を怠り、将来思わぬ不幸を招くもとになる」

たまたま町会議員永末義雄氏の長男武志君が天野八重子嬢と結婚式を挙げるに当り、青年がこの新しい目論見をお願いした所、快く承知、見事に保美さんの提案が実を結んだわけである。

こうして、町教育委員会の研究指定分館として、生活改善運動を進める上弁城分館では、直接骨折って世話をしている青年は勿論、戸主や婦人たちの、暖い理解と協力のもと、山間地に有りがちな根強い因習を破って、一歩一歩、部落の振興に向っている。【写真上は婚姻届に印をつく新郎】

総会は来春二月に
三月には子供童話コンクール
―子供育成協理事会終る―

十一月三十日の午前中にわたって開かれた子供会育成協議会第三回理事会は、荒木教育長の挨拶に始まり終始熱心に協議がなされた。

①十二月中は、各理事とも、地域の子供会行事（クリスマスなど）で忙しいので、懸案の講習会は、来年一月中旬頃開く。理論的よりも、まず実際的な講師を呼んで、子供会育成の具体的な知識と技術を身につけよう、というわけ

②総会は二月中。32年度を反省し、33年度の事業計画と予算案とをきめようというネライ

③三月に、方城中学校体育館の落成を祝って、町内子供会対抗、童話コンクールを開く。（各子供会から代表一名位で）

以上三つのことを申し合わせた他

㋑子供の役員と育成会の役員との座談会

㋺子供の役員の講習会（特に夏などは一泊一日位で）

㋩各子供会の財政の確立

㋥防火夜廻りの良い点、悪い点

㋭将来は子供会を全町的な連合体にまで固めたい

㋬子供会の前には、準備のための子供自身の役員会を開くと良い

㋣子供の役員は、役員としてその町内の大人たちも尊重する

㋠紙芝居も貸してほしいなど、沢山の意見がかわされた。

（註、紙芝居の枠は公民館にあり、貸出します）

そのほか特に申し合わされたことは、

百人、二百人の子供会に、理事一人ではムリがあるので

㋑理事の他に「委員」を作る

㋺委員の人数や人選は、各子供会の実情にまかせる

㋩「理事会」の他に、委員さんも

かくて、午後四時すぎ、講義のあとの質疑や話し合いを終り、きわめて意義深い、この講習会の幕をとじました。

良いと思ったことはどし〳〵実行しましょう!!

【写真左は、県からの赤司講師を紹介する出張所松本主事】

家計簿を中心とした家庭を明るくする講習会

十一月二十一日午後一時半、農業会館で「家計簿を中心にした、明るい家庭を築く講習会」が開かれた。

講師は、県教育庁社会教育課赤司勝先生、田川出張所の松本社会教育主事も一緒に来町、集る者町内の婦人会や三菱主婦会、そして女子青年学級生の若々しい顔もまじえて、約七十名。

家計簿は金銭出納簿にあらず

ユーモラスで、わかりやすい赤司先生の話に、時折頷をほころばせながら、家計簿の意義がみんなによく納得された。

①他の動物なみに計算すれば、人間は百四十才までは薬に生きねばならないはず

②それが早く死ぬのは「心」と「物」の両面から、みんな命をちぢめているからだ

③けっきょく家計簿は、いっただけつける「金銭出納簿」ではなく

④「話し合い」で「生活のあり方」をうち立てていくための、家庭設計書である。

「食べもの」は「バッカリ料理」で、生活も「行き当りばったり」で、着物も、たまにしか着ないヨソゆきに沢山金をかけ、いつも使う作業着や普だん着などは全くかまわない。これでは命がちぢまる道理。

新年から家計簿をつけましょう

「友の会」を作って新しい年は一月一日から、是非みんなで家計簿をつけよう。

数人、十数人で、家計簿の「友の会」を作って、はげまし合い、教え合って家計簿をつけよう。一人ではなか〳〵つづかない。

公民館では、来年一年間、研究的に家計簿をつけていく「友の会」を作るよう、おすすめしています

アメリカ通信　その二

元診療所医師　黒木公夫

（前略）

わずか一年足らずの方城の地ではありましたが、思い出深い町となりました。

毎日々々、英語と外国人の中で生活し、意志を通ずる他は、感情を表現し得ない毎日は、時に郷愁と、淋しさとにつつまれます。

遠い異国の果で、懐しい方城の町の動きを思い、幾多の私の知っている人々を思い、日本の香りを偲ぶことを得ました。

三人に一人は持っていると云う自動車の国、何事もオートマチックにされている国、二分間で写真が自動的に出来てきて、銀貨を入れてハンドルを廻せば、ジュースがコップに入ってきて、ピーナツ、ケーキが飛び出し、手術室を九階に置いても、不自由せぬ様に設備している国、アメリカにいても、やはり松の梢を洩れくる月の光に詩を読み、ススキの土手を慢歩する日本的生活が、日本人の感情生活にはピッタリする様です。

資本主義社会としては最も発達した国と云えましょうが、又、その反面、その欠点も十分に持っています。日本の学ばねばならぬ事も沢山ありますが、逆に日本の組織・制度の良い事もあります。

小さな片隅から見た私のアメリカ観ですが、貧乏な日本には、このアメリカ程に凡ゆることを機械化し設備する事は出来ませんが、決してアメリカの文明水準からケタ違いに離れているとは思っていません。

白人にはどこかにアジア人蔑視の潜在意識のあると云う事は知っていましたが、こうして各国の医者と語り合う時、私は決して、彼らを「西欧の頭脳」がすばぬけて秀でているとは思いません。そこに、我々日本人が開拓し、彼らに認識させていくべき道があるのだと思います。

即ち、戦争などによる解決の道でなく、教育・文化の向上と云う道こそ、大切な道だと今思っています。

同じく戦いに敗れた国でありながら、ドイツ人に対しては、頭脳的信頼感を寄せています。げんに人工衛星があがりますと、あれはドイツの捕虜の科学者に作らせたのだ、などと云います。

貧乏で国土も狭い日本にとって、教育・文化を開拓する道こそ、私達の進む道だろう、と思います。

理くつめいた事を書きましたが、異国に来て日本を知った様な気がします。では皆さんお元気で。

（宛名＝米国イリノイ州シカゴ市ストニイ・アイランド街7531ジャクソン・パーク病院内）

毎月第一日曜を農休日
みんな集って勉強やレク

方城町四Hクラブ

十月十七日の例会で、方城町四Hクラブ（会員三十八名）では次の事を申し合わせた。

毎月第一日曜を「農休日」とすること。そして、午前中は公民館に集って講義や講習などを行い、昼からはレクリエーションなどで一緒に楽しみ、明日への力を養おうというもの。

尚、十二月六日は午前九時から赤池町と合同で研究協議会を持ち、一年間の研究の成果を持ちよることになっている。

午前中は種子、農薬、肥料や生活改善器具の判定競技会、午後、男子は農機具（畜力カルチベータ、動力耕耘機）の実地指導会（秋ケ原）、女子は農繁期保存食実地指導会（農業会館）で行う。

最後にみんな集って、四H活動の反省と展望との話し合いを持つ。

12月の暦

【カッコ】は分館巡回映画教室

1日　原水爆反対築豊大会（後藤寺小）新町子供会育成会結成会

3日　青年団本部会。同支部長会

4日　三菱砿主婦会生活文化作品展並びに廃物交換会【広谷】

5日　婦人会幹部会。新門農業振興座談会【見六】

6日　四H研究協議会【長浦】

7日　【丸山】8日郡内公・婦・青、新生活運動合同協議会（糸田町公）【中原】

9日　防犯協会発会式（前九）農業会館【新町】

10日　古門農振座談会【東古門】

11日　狂犬病予防注射（前九～後四）役場前。青年学級研究会（後七）【中古門】

12日　上弁城婦料理講【西古門】

13日　百日咳第二回予防注射（後一時半）畑婦料講【野添】

14日　農産物共進会並びに文化祭（15、16日まで）【倉石砿】

15日　【久六】16日【浄満寺】

17日　分館長研修会（前九）【新町】

18日　定例町議会（前九）ジフテリヤ予防注射【上弁城】

19日　弁城砿子供会。消防幹部会（後一）【弁城砿】

20日　選挙管理委員会（後一）、農業委員会（後一）

23日　詩話会（啄木）（後六）

24日　方正炭砿子供会

25日　女子青年学級生クリスマス・レク

27日　ジフテリヤ予防注射【新町】

28日　役場御用納め

菊香る〝窯びらき〟
郷土の芸術
豊前吉右衛門焼

去る十一月十五日から、十九日で、火まわりもよく、今までの苦心の甲斐があったというもの。

の五日間、上弁城の吉右衛門窯で「窯びらき」が行われた。

旧窯にかわって、新窯は四室の登り窯で、昨年、窯の改築を思い立ってから、長い、苦しい日々が続いた。

秋の陽が惜しげもなく溢れる茶室には数々の新作が並べられ、吉右衛門谷は遠かに渡うちながら眼下に広がる。

窯主、吉右衛門さんと、永末晴美氏の話では、窯の調子は上乗

「絵上野」と呼ばれる、その素朴な民芸美は、すでに江湖の好評を博し、わが方城の、郷土の芸術

新窯の完成と共に、益々好調の吉右衛門窯が、郷土のみなさんの、理解と支援とによって、更に更に優れた作品を生み出し、郷土芸術の、豊かな実りを結ばれるよう、祈ってやまないものである。

【写真は新窯の前に立った吉右衛門さん】

として、十分誇るに足るものである。

十一月十三日には、俳人野見山朱鳥氏ら一行が来窯し、吉右衛門さんの作品中から「昭和三十二年度菜穀火最優秀賞」の該当作品を指定、絶讃しつゝ、下山している。

好成績の買物料理コンクール
—三菱礦主婦会—

十一月四日、三菱方城炭礦主婦会では「買物料理コンクール」を行った。

これは、ただ料理だけでなく、八〇円の範囲で材料の買出しをし、しかも栄養の点も含めた一切のコンクールである。

午前中から、午後にわたってくりひろげられたコンクールに、田川保健所長、三菱砿病院長はじめ、栄養士さんなど含めた五人の審査員。各区代表（二人一組）の選手は八組。

審査の結果、一等入選の一区原田トミコさん及び、同じく二区の田端ミツヨさんに、夫々教育委員会賞が贈られ、生活協同組合からも数々の賞が渡された。

保健所長、講評要旨

❶買物カゴは大体清潔

❷買ってきたものも新鮮

❸みんな一円も残さず、又一円も不足させず、きちんと八〇円分買ってきた

❹献立材料も季節的なものが買われていた

❺カロリー不足のもの、タンパク不足のものがあった

❻調理方法も普及性があり、申し分なし

❼調理時間も制限時間内

❽味つけもおいしい

❾ただ色彩外観は、他所のコンクールに比し工夫の余地あり

❿与えられた予算内で、安く得られるタンパクの供給には、更に工夫の余地あり

⓫全体的に脂肪を使いすぎている。三栄養素のバランスを考え今後大いに研究されたい。

⓬マスクにカッポウ着でしたのは可。これを家庭内にも持ち込まれたい

⓭調理前にセッケンで手を洗った人がいたが、台所に是非セッケンを

⓮第一回としては非常に良く出来た。今後一層の工夫と努力を。

地力の復旧はこれでよいか

田川北部
農業改良普及所
長尾智代喜

鉱害を受けている水田が、年々復旧されていることは喜ばしいことである。復旧の方法をみると、原形復旧という言葉のように、地形を昔の形になおすことに重点がおかれているが、耕作農家の最も望むことは、**地力**（農作物を生産する土の力）を昔どおりに復旧することではなかろうか。鉱害を受け復旧されつつある水田は地力の高かったところが多く、地力が昔の姿にかえされない限り、完全復旧とはいえない。復旧が完了すると、やがて鉱害補償金を打切られるようになっているが、地力復旧のないこの鉱害復旧を、耕作農家はどう考えているだろうか。

地力復旧について、二、三の問題をひろってみよう。

稲や麦・ナタネ等の根は三尺位い。水持の悪い地下にしみこむ量が多いのでこれにとけて流亡する養分も多い。水持の悪い田は施した肥料の用いることはできるだけさけるべきである。それではどんな土を用いるのが理想的であるか、先ず水持をよくする土であること、即ち粘土分を或程度含んでいること。次に作物の根が深くまでのびやすい土であること、根がのびる三尺位までに石・ボタ・砂等を埋立につかわないこと、なお、埋立て土に養分を多く含んでいることが理想的である。しかし復旧には予算がともなうことであるから、理想論ばかりを主張することもできないだろうが、復旧の設計には農業技術者の意見を求め予算の範囲内で最も効果の大きい鉱害復旧をしたいものである。

（普及員）

鉱害復旧に望む

大きな成果の結婚改善
さらに一段進めよう

公民館結婚がすすみ、経費の上で、どれほど大きな節約がなされているかわかりません。青年男女が、良縁さえあれば、すい分気楽に結婚式をあげられるようになったことは、大きな成果であり、初めて悪口を言われながら、あくまで生活改善の理想のため頑張った、先覚者たちに、心から感謝せねばならぬと思います。しかし

❶公民館から衣裳を借るだけに終って

❷酒を二合に制限するだけに終って

❸結婚にまつわる、縁起かつぎや迷信

❹根拠のない「身元差別」の偏見

❺結納金、嫁入道具、初歩きなど挙式前後の改善

などは、まだまだ改善されずに、重たく若い男女の上にのしかゝっています。

これからは「形」で改善するのでなく「心」で改善しましょう。その人その人の実情に照して、関係者で十分に話し合いをして、この運動を高めましょう。

みんなの結婚衣裳を大事にしましょう

また、公民館に衣裳を返す時

❶エリにおしろいがついたまま

❷アイロンもかけず

❸ほころびたら、ほころびたまゝ

地力の復旧はこれでよいか

田川北部
農業改良普及所
長尾智代喜

鉱害を受けている水田が、年々復旧されていることは喜ばしいことである。復旧の方法をみると、原形復旧という言葉のように、地形を昔の形になおすことに重点がおかれているが、耕作農家の最も望むことは、**地力**（農作物を生産する土の力）を昔どおりに復旧することではなかろうか。鉱害を受け復旧されつつある水田は地力の高かったところが多く、地力が昔の姿にかえされない限り、完全復旧とはいえない。復旧が完了すると、やがて鉱害補償金を打切られるようになっているが、地力復旧のないこの鉱害復旧を、耕作農家はどう考えているだろうか。

地力復旧について、二、三の問題をひろってみよう。

稲や麦・ナタネ等の根は三尺位い。水持の悪い地下にしみこむ量が多いのでこれにとけて流亡する養分も多い。水持の悪い田は施した肥料の用いることはできるだけさけるべきである。それではどんな土を用いるのが理想的であるか、先ず水持をよくする土であること、即ち粘土分を或程度含んでいること。次に作物の根が深くまでのびやすい土であること、根がのびる三尺位までに石・ボタ・砂等を埋立につかわないこと、なお、埋立て土に養分を多く含んでいることが理想的である。しかし復旧には予算がともなうことであるから、理想論ばかりを主張することもできないだろうが、復旧の設計には農業技術者の意見を求め予算の範囲内で最も効果の大きい鉱害復旧をしたいものである。

（普及員）

鉱害復旧に望む

方城町のホープさん
（その五）

青年団伊方側副団長
石橋正子

彼女（愛称マコちゃん）は大変明朗である。といって、決して騒々しい人ではない。ドライとウェットの両方の長所をそなえた人と思う。昭和十一年生れの二十一才東高校卒業と同時に青年団に入団し、現在町青年団の副団長をしている。とかくキリョウのよい人。チョットしたインテリにありがちな、ツンとして、気取った所など、全然なく、気はやさしくしっかりして、いつも笑顔を忘れない。趣味は、ときけば、スポーツ、音楽、料理、と答える。4Hクラブにも加入している。

家族は五人で、つい先日不慮の事故でお父さんをなくし、現在は家の、大黒柱となって、朝五時に起き、乳牛の乳をしぼり、弟さんが見六返賠いうちに持って行く。昼間は田・畠の仕事など、男も顔まけの仕事ぶりである。

彼女とスケアダンスなどしたい人は、みんな知っている事と思うが、手をにぎったときにすぐその仕事ぶりがわかる。百姓ばかりではない。青年団員が、農繁期の夜警に廻っていると、4Hでならった料理の腕にヨリをかけて夜食を作ってくれる。ある時は十一時過ぎるのにまだ書物を読んでいたり、なかなかの勉強家でもある。

マコちゃんの弟は、静岡での国民体育大会に於て、弓道の高校九州代表として参加し、全国の強豪を相手に、堂々と戦い、第一位の栄冠を獲得した。姉弟で、傷心のおかあさんを助けながら、しかも団活動に力を入れてくれるのを思うと、頭が下がらずにはおれない気持です。これぞ、方城青年団のホープ、いや産業方城のホープである。

【推せん】方城町青年団長
石橋徳行

【公民館追白】

石橋正子さんの真面目な人生態度と、ひたむきな努力が、多幸な明日を切り開いていくことを、信じて疑わない。「至誠通天」

投書から
シャベリ合い、から話し合いに
—窮屈な田舎のくらし—

主婦からの投書

「私は外地で生れ、外地で育ったせいか、内地の殊に田舎での暮しは、大変きゅうくつに思われました。決して悪い人ではないのですが、近所の方々は、寄ると人の噂ばなしをし、私生活にまで干渉するのです」（以下略）

悪気ではないがつい興にのってのおしゃべりが思いがけぬ苦痛を人に与えることは案外多い。

家計簿講習会の赤司講師の話にも「しゃべり合い」と「話し合い」とはちがう。❶何でも話す。❷相手の身になって話す❸良いとわかったら決めて実行に移すことだ。と言われた。

人を傷つけ、お互いでお互いをシバリ合うような「シャベリ合い」を、お互いがお互いの協力で、家や部落を良くしていく「話し合い」に高めていこう。

お願い

国民健康保険税は、被保険者の皆様方が、病気や怪我で医者にかゝった時、役場から医者に支払わなければならない大事なお金であり、未納がありますと保険運営に大いに支障を来す事になります。未納者は何とぞ早目に納めて下さい。

昭和三十二年度保険税期分は、只今第三期まで納期が来ています。

尚診療所の治療費や薬代など未納の方も、早急に納めて下さる様お願い致します。

お知らせ

十二月一日から三十一日まで、田川警察署で歳末特別警戒が行われます。「防犯はまず自衛から」われわれも歩調を合せて協力し、楽しい明るい新年を迎えましょう。

防犯心得を各分館長さん宛お届けしましたので、よくお読み下さい。

お知らせ

十二月一日から三十一日まで、田川警察署で歳末特別警戒が行われます。「防犯はまず自衛から」われわれも歩調を合せて協力し、楽しい明るい新年を迎えましょう。

防犯心得を各分館長さん宛お届けしましたので、よくお読み下さい。

高野素十氏を迎えて
筑豊俳句会開かる

俳界に重きをなす、高野素十氏を迎えて、筑豊俳句会が開かれた。

（役場　国保係）

一行は投句締切の五時少し前、会場の伊方、正運寺に下る。会場にはもうかなりの人。

定刻直ちに互選に入る。不在投句を含めて七五人三七五句。遠く熊本県、大分県をはじめ、四日市、田主丸町、豊前市、耶馬溪など、筑豊地方以外からの参加者も目立ち、この道の同好者の熱心を物語って余りあった。

なごやかなうちにも熱心に時がすぎ、方城俳史に更に貴重な一頁を加えて、午後七時半散会した。

●高野素十氏特選句

救命器背負ひて急ぐも霧の坑　秀昭

ちゃんくこ着し陶工のベレー帽　修

稲田に坑害復旧の杭をうつ　ひさし

耶馬越えてきて冬山の皆低く　炭舟

窯元の水車の上の冬の山　鳴実

菊活けし心くづさず暮したし　いしの

ガラス窯陶土によごれ冬日濃し　炭舟

吾が刈りし稲の刈跡不揃ひに　千代子

耶馬溪のホテルの庭の籾莚　梅郁

吉右衛門谷吉右衛門窯跡麦田　天留翁

選者吟　冬の川選炭濁り甚し

●遠入たつみ氏選句

稲田に坑害復旧の杭を打つ　ひさし

冬山の一つ戻り二つ照り　梵太

菊活けし心くづさず暮したし　いしの

ガラス窯陶土によごれ冬日濃し　炭舟

窯元は雑木紅葉の明るさに　房子

沼涸れて測量杭を打込めり　子晃

耶馬の娘が餅売りにきぬ紅葉宿　子晃

道せばめ籾干すこゝら耶馬も奥　一線

児童向図書

十一月新購入図書の主なものを御紹介します。紙面の都合で全冊御紹介出来ませんが、どしどし御利用下さい。

（り）（よ）（だ）（館）（書）（図）

児童向図書

「お姉さんといっしょ」筒井敬介著

お姉さんをだましそこねるタッちゃん。ビスケットをあげすぎて金魚を死なせるタッちゃんなど。

「少年少女科学小説」火星号不時着外全十五冊

南極探検、火星接近、人工衛星など、現代科学にそって空想をひろげられる本です。

成人向図書

「四季の演技」丹羽文雄

母への愛、現実の母の生態、母をとおして見る愛欲の四季

「おとうと」幸田文

個性のつよい作品。人生の入口で病気のために挫折した弟の不安定な行動や夢、そのために憔しく気なく消費される姉の青春

「夜の鶴」石川達三

娘の婚約者へ手紙体で綴られた父性愛の記録。良き婚約者を得た喜びと、愛する者をうばわれた憎しみにも似た感情と!!

「悪童」今東光

天台院僧侶である筆者の青春自叙伝。思春期の楽しさとペーソスに充ちた、その無軌道ぶり

「女性の倫理」大迫倫子

女はどう生きるべきか、独身の女流作家が語る生きる事の意義

「その他」

妖　円地文子

情　灯　池田みち子

地　上　島田清次郎

傷の中の青春　竹内てるよ

他

上弁城分館長永末治豊氏二女、故チト殿御香典返しとして、町立図書館に図書購入資金の寄付を賜りました。茲にその御逝去をいたみ、謹んで哀悼の意を表しますと共に、御香資の御贈与を賜りました皆様方に対し、御通知旁々御礼申し上げます。

昭和三十二年十一月九日
方城町教育委員会

後谷分館内、朝部佐吉氏御令室、故マサ子殿御香典返しとして後谷分館に対し、図書棚（一間物）を寄贈して頂きました。この備品を十分活用し、立派な分館運営に努力致し、以て故人の御冥福をお祈り申し上げたいと思う次第であります。

昭和三十二年十一月
後谷分館長